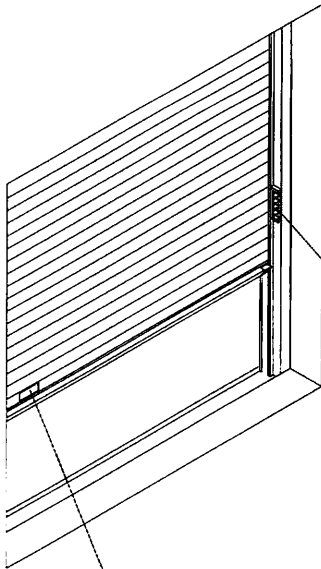


ラベルの貼り付け位置

本商品には、下の図に示す位置に注意ラベルが貼ってあります。

商品に貼り付けのラベルは、必ずお読みください。また、表示ラベルはいつもきれいにし、剥がさないでください。

■シャッター

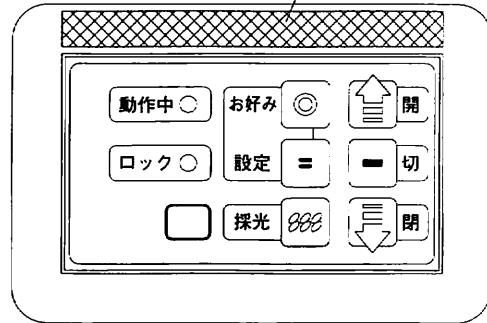


非常脱出レバー
 ↓ 下げる
 操作方法
 補助ロックがある場合には必ず解除し、手でシャッターを開けるまでレバーを下げた後、お読みください。非常時のみご使用ください。

■操作ユニット

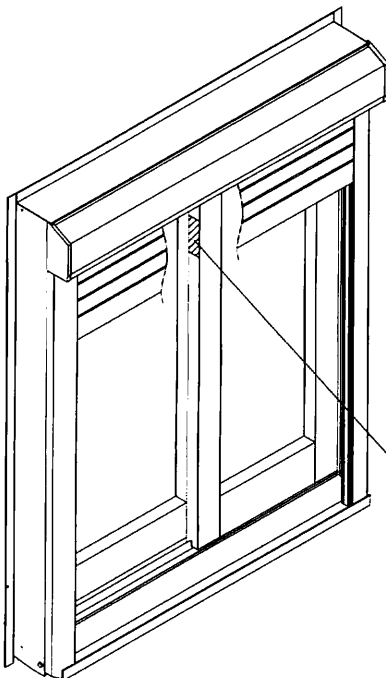
お好み位置の設定方法
 1. 「設定」スイッチを押して下さい。
 2. 探光位置まで自動的に作動した後、赤と緑のランプが5秒間点灯します。
 3. ランプ点灯中に「開」又は「閉」スイッチを押し、お好みの位置で「切」スイッチを押して下さい。

停電後のお願い
 赤と緑のランプが同時に点滅していますので「設定」スイッチを押して下さい。自動的に開一閉して全開位置の設定を行います。点滅中は駆動禁止の為、探光位置よりシャッターは下がりません。



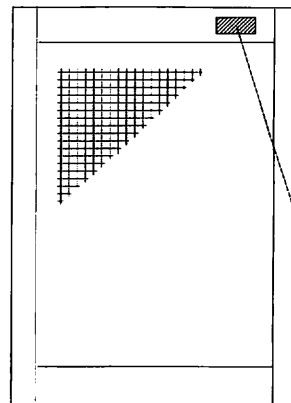
補助ロックの使い方 防犯性をより高めるため、シャッターを下ろしたら補助ロックをご使用ください。シャッターを開ける時は、必ず解錠してください。	<施錠>	商品記号 W**** H**** ロットNO
	<解錠>	

■ガラス障子



△注意
 落下防止のため、必ずかけてください。
 付着面を傷つけないよう、おしるめかけてください。

■網戸(オプション)



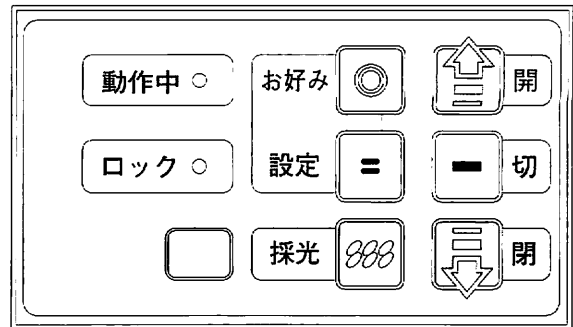
必ず上へ
 組み立て
 完了
△注意 網戸は落下防止のため、必ずかけてください。おしるめかけてください。

3. 操作方法

開閉方法

(1) シャッターを開けたい

「開」スイッチを押してください。
シャッター上昇中は、動作中ランプ(赤)が点灯します。
全開すると自動的に止まります。



(2) シャッターを閉めたい

「閉」スイッチを押してください。
シャッター下降中は、動作中ランプ(赤)が点灯します。
全閉すると自動的に止まり、防犯システムが作動します。
このとき、ロックランプ(緑)が点灯します。

(3) 開閉途中で止めたい

「切」スイッチを押してください。
シャッターの下を通るときには止まったことを確認してください。

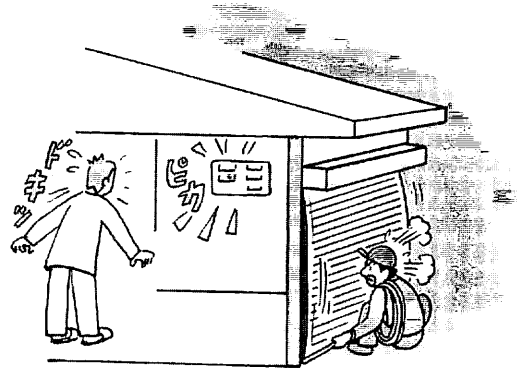
(4) 採光状態(スリット全開)にしたい

「採光」スイッチを押してください。
座板が下枠に着地し、スリット全開状態で自動的に止まり、
防犯システムが作動します。
このとき、ロックランプ(緑)が点灯します。



※防犯システムについて

採光状態から全開の間でシャッターを停止させると防犯システムが作動し、ロックランプ(緑)が点灯します。ロックランプ(緑)点灯中、屋外から手でシャッターを開けようとする、ロックランプ(緑)が点滅し異常を知らせます。この時、スリットが開いていると自動的にシャッターが閉まります。(全閉時は作動しません。)
異常を知らせるロックランプ(緑)が点滅した場合、「切」スイッチを押してください。ロックランプ(緑)は消灯します。



お願い

- 就寝前、外出時には、ロックランプ(緑)が点灯していることを確認してください。
ロックランプが消えている時は防犯システムが作動していません。その場合は、「閉」スイッチまたは「採光」スイッチを押してロックランプを点灯させてください。
- 停電など一度電源が遮断されると、動作中ランプ(赤)とロックランプ(緑)が同時点滅します。
この場合は、採光状態よりシャッターが下降しません。詳しくはP.7「知っておいていただきたいこと」をご参照ください。
- 採光状態において、風のあおりによりシャッターが持ち上がり、防犯システムが作動し全閉する場合があります。
- 連続してシャッターを開閉させると、モーターの過熱によりサーモスタットが作動し、一時的に動かなくなることがあります。
モーターを10~20分休ませて再度操作してください。
- 長期間使用しない場合でも、月に一度はシャッターの開閉を行なってください。
- 強風時にシャッターを開閉させると作動不良を起こすことがあります。強風時を避けて開閉してください。

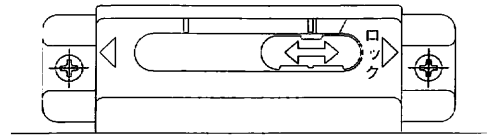
補助ロックの使い方

防犯性をより高めるため、シャッターを下ろしたら補助ロックをご使用ください。

お願い

- 電源ブレーカーを落とした時、停電時には防犯システムが作動しませんので、補助ロックをご使用ください。
- シャッターを開ける時は、必ず補助ロックを解錠してから行なってください。

解錠位置 ← → ロック位置



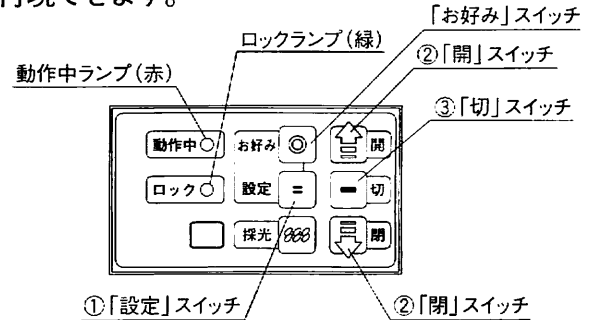
「お好み」ボタン設定方法

日常よく使用する状態を記憶することができます。

「お好み」ボタンを押せば、ワンタッチで記憶した状態を自動的に再現できます。

設定方法

- ①「設定」ボタンを押します。
シャッターが自動的に採光状態まで動き、動作中ランプ(赤)とロックランプ(緑)が同時に5秒間点灯します。
- ②ランプが5秒間点灯中に「開」スイッチまたは「閉」スイッチを押します。
- ③お好みの位置で「切」スイッチを押します。動作中ランプ(赤)とロックランプ(緑)が同時に1回点滅すると設定終了です。



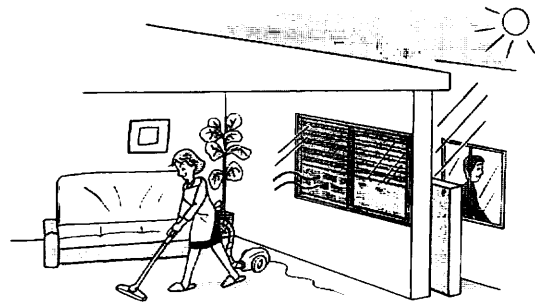
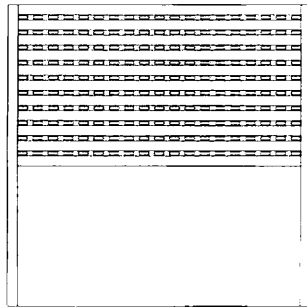
お願い

- 動作中ランプ(赤)とロックランプ(緑)が5秒間点灯終了後に「開」または「閉」ボタンを押しても設定できません。もう一度始めからやり直してください。
- 停電など電源が遮断された場合は、記憶したデータが消滅しますので、設定し直してください。

使用例-1 強い日差しをやわらげ、通風が可能

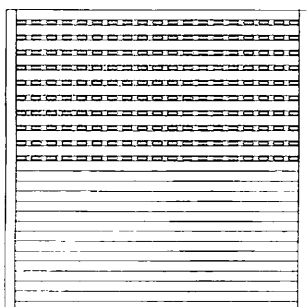
すだれ効果+プライバシー保護

すだれ効果でプライバシー保護しながら上部スリットが強い日差しをやわらげ
下部からは心地よい風を招き入れます。



使用例-2 換気をしながら、プライバシー保護

下部が外の視線をさえぎり、プライバシーを保護
上部からはスリットを通して、適度な風を採り入れます。



4. 知っておいていただきたいこと

全閉位置の設定

停電など一度電源が遮断されると、動作中ランプ(赤)とロックランプ(緑)が同時点滅します。このとき、シャッターは全閉位置がわからない状態にありますので、以下の手順にしたがって全閉位置の設定を行なってください。

設定手順

- ①「設定」スイッチを押してください。
- ②シャッターが自動的に全開から閉動作を行ない、全閉状態で停止すると設定終了です。

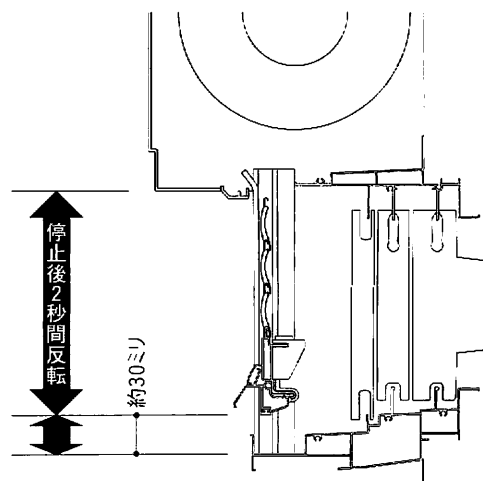
お願い

- 停電など電源が遮断された場合は、その都度全閉位置の設定を行なう必要があります。
- 全閉位置が設定されていない場合(動作中ランプ(赤)とロックランプ(緑)が同時点滅している)、破損防止のため採光状態よりシャッターが下がりません。

障害物感知機能

シャッター下降中、座板が障害物に接触すると、ただちに停止して2秒間上昇します。

ただし、下枠から約30ミリの範囲では、検知しない場合がありますが、座板が下枠に着地してからスラットが閉じ始めるまでの間0.5秒間の停止時間(猶予)を設けてあります。



非常時の脱出について

火災など万一の場合にシャッターが閉じていても、手動で開けることができます。

操作方法

- ①ロックランプ(緑)が点灯している場合は、「切」スイッチを押してください。
ランプが消灯し、防犯システムが解除されます。
- ②赤のラインが見えるまで非常脱出レバーを押し下げてください。

